

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA HILUX

専用シートカバー取付説明書

1200/1201/1202

Elazzio

SEAT COVER

このたびは「Elazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

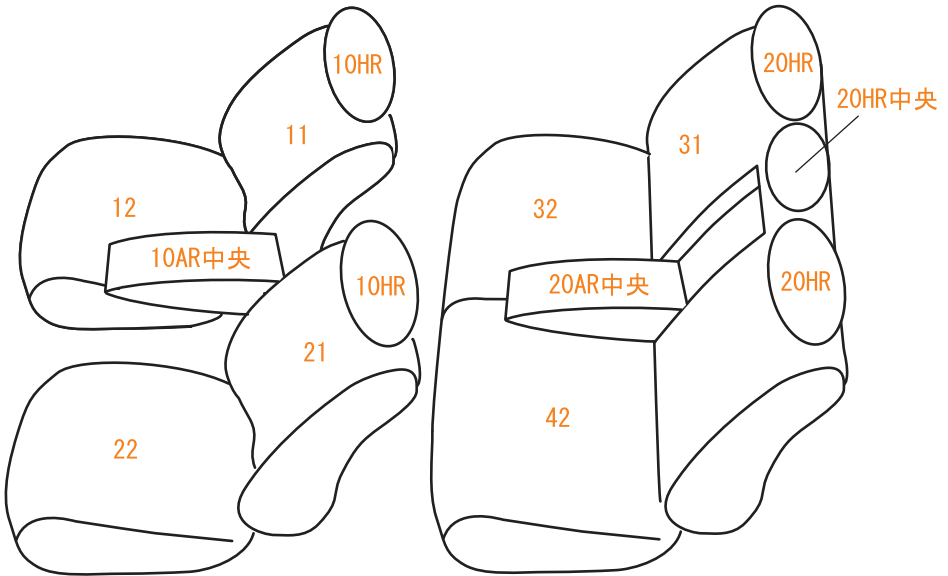
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P~4P
1 列目座面の装着方法	…> 5P~6P
1 列目背もたれの装着方法	…> 7P~8P
2 列目座面の装着方法	…> 9P~11P
2 列目背もたれ・アームレストの装着方法	…> 12P~20P
ヘッドレストの装着方法	…> 21P~22P
コンソールの装着方法	…> 23P
完成	…> 24P
コンビニフックの加工方法	…> 25P~26P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 27P~28P

本製品シート形状とパーツの名称



20AR中央、42は
2列目アームレスト装備車のみ同梱されています。

取付必要工具



- ① ソケットレンチ (12mm) ※エクステンションバーは必要に応じてご用意ください
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

1 列目運転席座面の装着方法

当説明所では主にZグレードのシートを元に、シートカバーの装着説明を行っています。
Xグレード・Z” GR SPORT”グレードも、シート形状は異なりますが、同様の固定方法で装着を行って下さい。※グレード形態は2022年4月現在のものです。



- 1 始めにシートの背面からシート裏に回っている生地を外します。
生地はシート裏の金属部分にゴムで引っ掛けて固定されています。



- 4 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。この際、サイドエアバッグの配線に注意して、配線をカバーの切れ込みでかわしながら生地を引き出します。



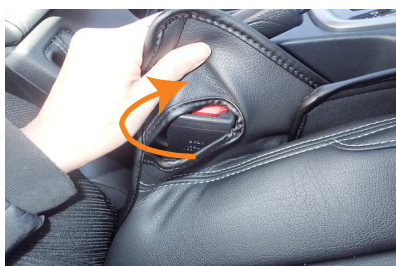
- 2 マニュアルシートはシートリフターで、パワーシートはスイッチでシートを一番高い位置まで上げて作業を行って下さい。カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



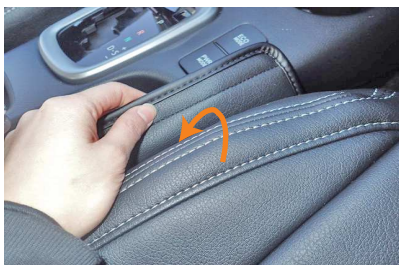
- 5 外側面の固定用部材の付いた生地を、シートとプラスチックパーツの隙間にヘラ等を使用して入れ込みます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調節して、入れ込みやすい角度で作業を行って下さい。



- 6 シートベルトバックルにカバーの加工穴を通します。



- 7 カバー内側の下に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。マジックテープには保護テープが付いている場合があります。保護テープが付いていると固定ができないので、保護テープを外して作業を行って下さい。



- 8 カバーの前側に付いているベルトを、シートの裏から背面に回します。シートの裏には金属バーがある為、ベルトは図の様に金属バーの上を通して下さい。



- 9 パワーシート車はシート前側のプラスチックパーツの内側にベルトを通してからシートの背面へベルトを回します。



- 10 ベルトをシート背面から引き出します。4番で引き出した生地が付いているバックルに通して固定します。



- 11 ベルトは①～③の順番でバックルに通して引き、カバーの前後を固定します。ベルトは強く引き過ぎると生地が裂けたり、カバーの表面が浮いてしまうので適度に調節して下さい。



- 12 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も同様に取り付けます。上の図がZクレードのマニュアルシート、下の図がZ”GR SPORT”用パワーシートの完成図です。

Step 2

1 列目運転席背もたれの装着方法

当説明所では主にZグレードのシートを元に、シートカバーの装着説明を行っています。Xグレード・Z” GR SPORT”グレードも、シート形状は異なりますが、同様の固定方法で装着を行って下さい。※グレード形態は2022年4月現在のものです。コンビニック装備車でコンビニックを使用するには、カバーの加工が必要です。装着、加工方法は25・26ページをご覧ください。尚、加工はお客様の自己責任の上行して下さい。



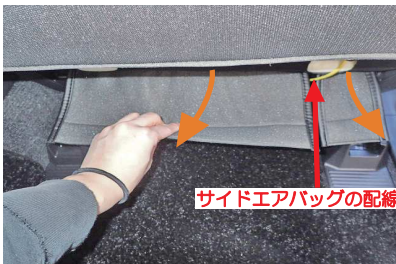
- 1 コンビニックの加工をされる場合は、カバーを装着する前にコンビニックを外しておきます。5ページ1番で外した生地をめくり上げてシートのポケットに入れ込みます。



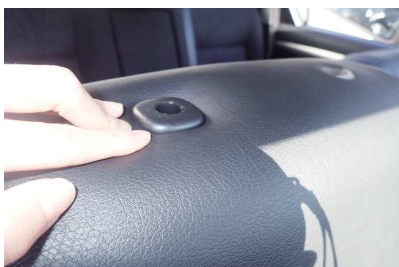
- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調節して入れ込みやすい角度で作業を行って下さい。



- 2 カバー側面のファスナーを開き、シートのラインに合わせてをかぶせます。



- 5 入れ込んだ生地を背面から引き出します。サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの配線に注意して生地を引き出して下さい。



- 3 生地の伸びを利用してヘッドレストの台座を取り出します。※本革を使用したカバーでは生地が裂ける可能性があります。生地が多少裂けた場合でも、台座の裏に隠れる為、問題ありません。



- 6 生地を内へ寄せながら、側面のファスナーを半分ほど閉じます。



7 カバー側面の生地を①→②→③の順番にシート中心へ集めるように馴染ませます。中央に集まった生地を5番と同様に入れ込み、背面から引き出します。生地がシートに馴染むまでこの作業を繰り返し行って下さい。



8 5番で引き出した生地に付いているマジックテープと、カバー背面下に付いているマジックテープを固定します。



9 ファスナーを全て閉じます。ファスナーの端は折り返しカバーの中へ入れ込みます。



10 カバーの背面下に付いているゴムを、シート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。シートの背面下は図のようになります。



11 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step3

2列目座面の装着方法

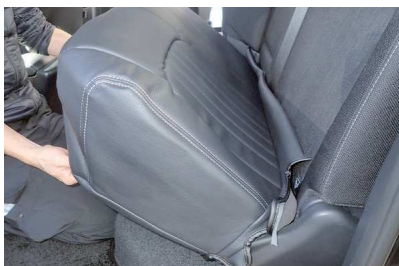
4：6分割の助手席側で説明しています。運転席側、一体式の座面も形状は異なりますが、同様の固定方法で装着を行って下さい。



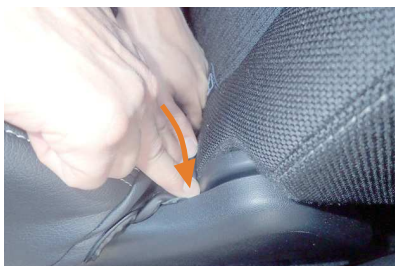
- 1 カバー内側のファスナーを開いた状態で、シートを少し跳ね上げて、シートのラインに合わせてかぶせます。



- 4 シートを斜めに跳ね上げた状態で、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 カバーをシート全体にかぶせます。



- 5 シートの付け根の生地も、シートに沿わせるように入れ込みます。



- 3 シートを跳ね上げる際に使用するストラップを、図の加工穴から取り出します。



- 6 入れ込んだ生地をシートを跳ね上げて、シートの裏から引き出します。



- 7 シートの付け根の生地もシートの裏から引き出します。



- 10 内側のファスナーを生地を寄せながら慎重に閉じます。



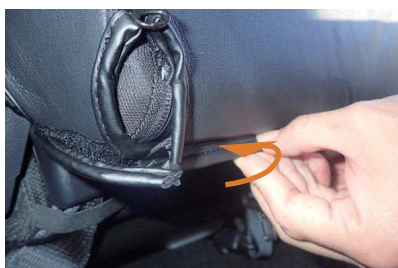
- 8 シートを跳ね上げた状態で固定します。シート裏側のシートを固定するフックとカバーの加工穴の位置が合っていることを確認します。



- 11 カバー内側の生地と6番で引き出した生地の端を、マジックテープで固定します。
※一体式の座面にはこの作業はありません。



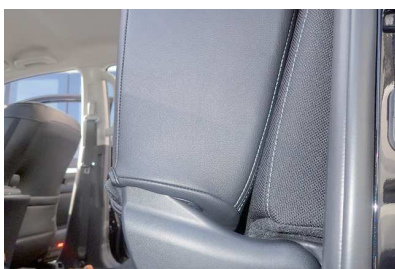
- 9 7番で引き出した生地をシート裏まで引き出し、生地の端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その場合は保護テープを外してからマジックテープを固定して下さい。



- 12 カバーの後ろ側全体を固定します。固定方法はブラックで固定します。6番で引き出した生地が付いている板状のフックを、縫い付けている生地ごと折り返してU字のフック側に差し込みます。21ページ5番にブラックを固定している断面図があるので、そちらも参考して下さい。フックは端から順々に固定していきます。



- 13 板状のフックをしっかりと入れ込みます。ブラフックの固定は一度固定すれば簡単には外れません。簡単に外れてしまう場合は固定が甘いか固定方法を間違っている可能性があります。



- 16 生地をしっかりと入れ込むと図のようになります。
※シートの上げ下げを繰り返すと生地が出てくる場合があります。その場合は生地を入れ直して下さい。



- 14 ブラフックを全て固定するとシートの裏側・後ろ側は図のようになります。



- 17 シート裏のカバーの生地は、シートの固定を妨げないように最小限の厚みにしています。それでもシートのロックが掛からない場合は、上から押し付けるなど、サポートして下さい。



- 15 シート外側面の付け根側です。カバーの端を折り返して、純正シート地の内側に入れ込みます。



- 18 カバーのラインを整えて、2列目助手席側座面の完成です。運転席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 4

2列目背もたれ・アームレストの装着方法

アームレスト装備車で説明を行っていますが、アームレスト未装備車も同様の固定方法で取り付けを行って下さい。アームレストの装着は、19ページ46番からご覧下さい。



- 1 座面を跳ね上げた状態で固定します。シートベルトのバックルを、固定しているゴムから抜き出します。



- 4 シートを車体から外します。シートはボルトとシート裏側のフックで固定されています。図は運転席側のボルト位置です。助手席側にも同様にボルトがあるので、全て外します。



- 2 中央のシートベルトを外します。赤いロックを解除するボタンをヘラの先端などで押すとロックが解除できます。



- 5 ボルトをソケットレンチなどを使用して全て外します。ソケットは12mmを使用します。ボルトを全て外しても、シートは6番のフックで固定されているので、ずれてくることはありません。



- 3 ロックを解除した中央のシートベルトを、固定しているゴムから抜き出します。



- 6 シート裏のフックを確認しておきます。シート裏側にフックが、車体側に差込口があります。



7 シート裏のフックを外す前に、ボルトを外したシートの軸部分に、なるべく厚手のウエスなどを置いておきます。この上に外したシートを置けるように準備します。



10 シートの固定が外れたら7番で準備していたウエスなどの上に置きます。



真上に持ち上げる

8 シート裏のフックを外します。座面を跳ね上げた状態で固定して作業を行います。まずシートを車体と平行に真上に持ち上げます。体勢を整えて、腰などを傷めないように作業を行って下さい。



11 シートが車体側の固定から外れました。説明書では車内でカバーの装着を行っていますが、シートを車外へ運び出すことも出来ます。その場合は十分に注意して、車体に傷などを付けたりしないよう、慎重に作業を行って下さい。



シートを持ち上げた状態で手前に引く

膝などでシートを持ち上げた状態を支える

9 真上に持ち上げた状態を膝などで支えたまま、シートの先端を手前側に引きます。これでシート裏のフックが外れます。



12 カバーの装着を行います。まずシートの肩口にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。運転席側・助手席側共にかぶせます。



- 13 中央のアームレストをカバーの加工穴から出します。



- 16 上側のフックを全て固定すると図のようになります。



- 14 カバーをシート全体にかぶせて、ヘッドレストの台座を全て取り出します。



- 17 カバー側面の生地をシートのラインに合わせて馴染ませます。



- 15 シートの裏側でカバーのフックを引っ掛けて固定します。
純正シート地を固定しているフックの上からカバーのフックを引っ掛けていきます。



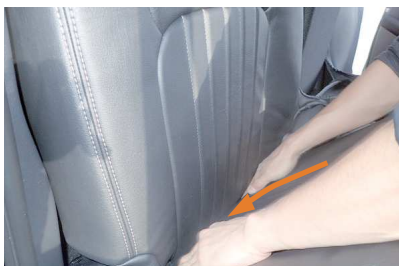
- 18 側面の裏側も純正シート地を固定しているフックの上からカバーのフックを引っ掛けて固定します。



19 側面の裏側は図のように固定されます。



22 引き出した生地をシートの下側にある鉄のフレームとシートの間に通します。



20 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



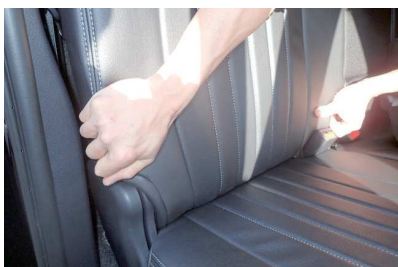
23 フレームにはチャイルドシート固定用のフックがあり、フックに生地が引っ掛かりやすくなっています。シートを押しながらフックをかわして生地を引き出します。



21 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



24 カバーの固定を行う前にカバーのラインを確認します。図の矢印位置の縫い目が、座面と背もたれですれていない場合はカバーを固定をする前にカバーのラインを調整する必要があります。



- 25 生地をしっかりと掴み、縫い目のラインが合うように調整します。



- 26 縫い目のラインを合わすと図のようになります。
※背もたれカバーを調整しても縫い目が合わない場合は、座面カバーがずれている可能性があります。その場合は背もたれ・座面カバー共に調整して下さい。



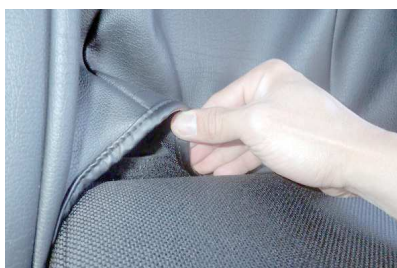
- 27 21番で引き出した生地についているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。
この後、アームレスト未装備車は18ページ38番の作業に移って下さい。



- 28 アームレストの下から生地を入れ込みます。隙間が狭いので図の状態のように手を添えた状態で、アームレストを倒す→起こすを繰り返していくと、生地が中へ入り込んでいきます。



- 29 アームレストを倒して生地を引き出します。



- 30 引き出した生地と、アームレスト収納部の端に付いているマジックテープを固定します。



- 31 アームレスト付け根部分に生地をしっかりと入れ込みます。



- 34 アームレストを図のようにしっかりと収納しておくこと、アームレスト収納部の生地が型付き、ある程度シートに馴染むようになります。アームレストは最低でも一週間程度は収めた状態にしてください。



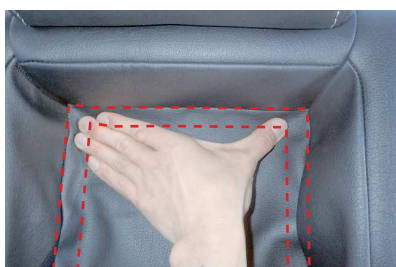
- 32 アームレスト収納部は生地の固定が出来ないため、装着してすぐは生地が図のように浮いた状態になります。



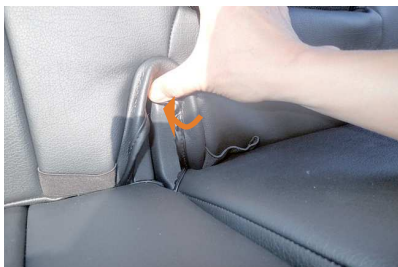
- 35 きれいに仕上げるためには、両面テープを使用してカバーの浮きを押しやる方法があります。



- 33 32番の状態を改善するためには、生地をしっかりと伸ばしながらアームレストを収納します。
※この作業はアームレストカバーを装着後行って下さい。



- 36 両面テープを図の点線部分の生地裏に貼り付けて、直接シート地に押さえ付け固定します。こうすると装着してすぐに生地がシートに馴染んだような形になります。
※シート地にテープの糊が残る場合があります。両面テープの使用は自己責任でお願いします。



- 37 アームレスト下側のシートの軸部分に生地を入れ込みます。生地にはマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 38 シートを車体に戻します。図のベルトがシートの内側に入り込まないように気を付けて下さい。



- 39 12ページ6番のフックの位置を意識してシートを車体に固定します。



- 40 カバーを装着したことにより、シートと車体の隙間が狭くなり、シート裏側のフックを掛けてもシートが下がり切らず、ボルトの位置が合わない場合があります。その場合は握り拳を作り、シートをポンポンと叩くとシートが下がっていきます。



- 41 ボルトの穴位置を合わせて、ソケットレンチなどでボルトを固定します。



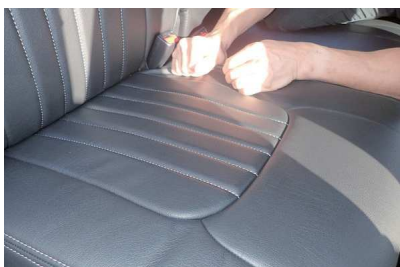
- 42 12ページ1番でシートのゴムから外したシートベルトバックルを、カバーに付いているゴムに通します。



- 43 中央のシートベルトをカバーに付いているゴムの間に通して固定します。



- 46 アームレストにカバーをかぶせます。カバーの入り口部分を裏返してアームレストの先端までしっかりとかぶせます。



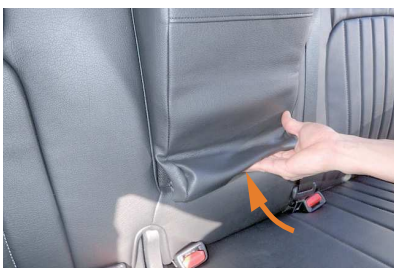
- 44 ここでもう一度シートのラインを確認します。座面カバーを調整する場合はシートをしっかりと掴み引っ張ることで少々のずれは解消できます。解消できない場合は一度固定を外してから、調整を行ってください。



- 47 アームレストのラインに合わせて、カバーをアームレスト全体にかぶせます。



- 45 カバーのラインを合わせると図のようになります。



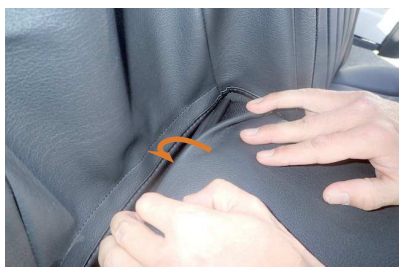
- 48 アームレストの付け根部分から先端にブラックの付いた生地を入れ込みます。生地のは入れ込み方は16ページ28番を参考にしてください。



49 アームレストを倒して生地を引き出します。



52 ドリンクホルダーのフチに生地を入れ込みます。アームレスト本体側に生地が余ることのないように、しっかりと入れ込んで下さい。



50 アームレストの付け根部分でブラックを固定します。21ページ5番にブラックを固定している断面図があるので、そちらも参考にして下さい。



53 カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。



51 ブラックを固定すると図のようになります。



54 2列目背もたれ・アームレストの完成図です。

Step5

ヘッドレストの装着方法



- 1 カバーを半分程折り返した状態で、ヘッドレストのラインに合わせて先端までしっかりとかぶせます。カバーは板状のプラスチックパーツが付いている方が前側です。



- 2 ヘッドレストのラインに合わせてカバーを左右均等に引き下げ、ヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3 ※こちらはZ" GR SPORT" グレード(品番:ET-1202)のみの仕様になります。ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏の生地を内へ寄せ合い、マジックテープを固定します。



- 4 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏で前後のブラックを固定します。



- 5 ブラックは板状のプラスチックを生地と一緒に折り返して、フック側に巻き込むように入れ込み固定します。



- 6 ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。

縫い代=縫い目の裏側にある、生地の部分



- 7 2列目両サイドのヘッドレストも1列目同様に取り付けます。2列目両サイドのヘッドレストは形状上、軸周りの穴を大きめに開けています。図はカバー下周りの生地の縫い代です。縫い代部分を生地表面側に倒すように装着します。



- 8 縫い代をヘッドレストの裏側に倒すと、縫い代が軸周りの穴からはみ出て見えます。この状態でも固定はできますが、あまり見た目が良くありません。



- 9 縫い代を表面側に倒してブラックを固定した場合、ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 10 2列目中央のヘッドレストは側面から引っ掛けるようにかぶせます。ヘッドレスト全体にかぶせていく際、片側の側面の角を指で押しながら慎重にかぶせます。



- 11 ヘッドレスト裏でブラックを固定します。2列目中央のヘッドレスト裏は図のようになります。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です

Step 6

コンソールの装着方法



- 1 カバーをコンソールのラインに合わせ、先端から全体にかぶせます。この時ゴムの根本を持ちながら、慎重にかぶせて下さい。



- 4 前側から生地を馴染ませて後ろ側の生地をヘラ等で入れ込みます。この際、加工糸が見える事がありますが仕様上問題ありません。



- 2 フタの後ろ側に生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。前側から生地を寄せて、生地にゆとりを作るとかぶせやすくなります。



- 5 カバーのラインを整えて、1列目コンソールの完成です。



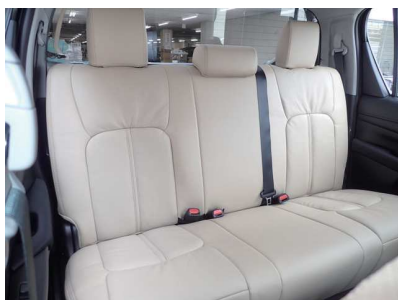
- 3 図の様に生地のフチがしっかり裏側に回るように引っ掛けて下さい。

完成図

2列目アームレスト装備車



2列目アームレスト未装備車



GR SPORT専用スポーツシート



コンビニフックの加工方法

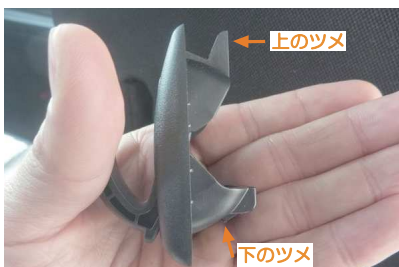
この車のコンビニフックは上下のツメで固定されています。ツメで固定されているタイプのコンビニフックは固定が元々強くない為、シートカバー装着後、元に戻せなくなる場合があります。コンビニフックを、ご使用されるにあたりカバーに加工をされる場合は**自己責任**でお願い致します。



- 1 フックを出して、フック下のツメをへらなどで軽く起こします。ツメを起こしながらフックを手前に引くとシートからコンビニフックが外れます。
※画像は別車種のものを使用しています。



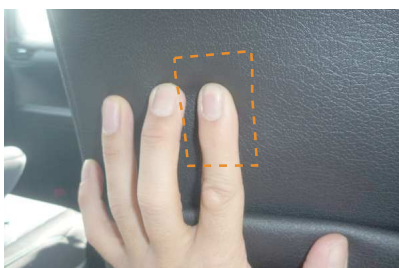
- 4 確認した位置に図のように印を付けます。始めは若干小さめに印を付けるようにして下さい。



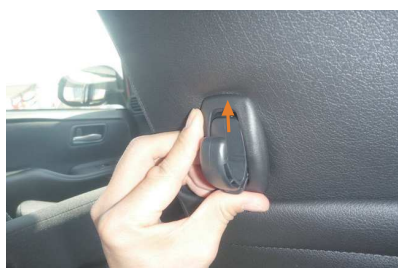
- 2 コンビニフックの側面図です。図のように下のツメがかなり小さい為、固定が強くなりません。下のツメの山がかけたりすると固定が出来なくなります。



- 5 印に沿って、生地を図のように切り取ります。生地を切る際は、シート表皮を傷付けたりしないように、作業は慎重に行って下さい。



- 3 背もたれカバーを装着します。コンビニフックを元に戻す為に穴を開けるので、加工後は背もたれカバーをすらしたりできません。穴開け加工をする前に、背もたれカバーにすれなどが無いかしっかりと確認して下さい。カバーの上から指でコンビニフックの固定位置を確認します。



- 6 コンビニフックをシートに戻します。2番の図を参考に下から上へ、上のツメをまず引っ掛けて、押し込み下のツメを引っ掛けます。固定後はコンビニフックを軽く引っ張りしっかりと固定できているか確認して下さい。



7 コンビニフックの完成です。



8 補足です。

6番の作業でどうしてもコンビニフックが固定できない場合、シート側の留め具を少し手前側に起こすと、コンビニフックが固定されやすくなります。

これを行うには、マイナスドライバー、もしくはそれに近い代用品を用意します。図のように真横から用意した工具を差し込みテコの原理でコンビニフックの下のツメが引っ掛かる金属の留め具を手前に起こします。数値にして1~2mm程度です。これで再度コンビニフックを元に戻すようにお試しください。

※こちらは無理に行くとシートのフレーム自体を変形させかねません。作業は慎重に、自己責任で行ってください。

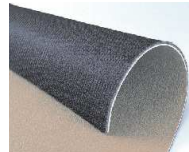


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816